

まちづくりの原動力 それはみんなの参画から

市では、「市民が主役のまちづくり」の実現に向けて、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めています。今回はその事例の一部を紹介します。

若さあふれる発想で語りあう「まちの未来」

なるとワールドカフェ開催事業

協働の事例⑱

鳴門の未来に向けて、若い世代がまちづくりに参画するための環境を整えることは、市と地域の共通課題です。

市では、そのきっかけ作りとして、今年7日に「なるとワールドカフェ」を初めて開催します。

市は参加者の募集や若い人たちがカフェのようなリラックスした雰囲気の中で話し合える場づくりを行い、参加者は「これからの鳴門」について気軽に意見を出し合いながら交流を深めていきます。



～ 思い描くまちの未来を共有し、一人一人がまちづくりの主役へ ～

たくさんの仲間と語り合うことで生まれる新たな出会いが、人と人をつなぎます。また、これまで自分では気付かなかった地域の新たな魅力を発見するきっかけとなるかもしれません。



この企画を通じて、若い皆さんが、**地域への愛着と誇り**を育みながら、これからもまちづくりに積極的に参画してほしいという願いも込められています。

これまでのまちづくりにさらに**若いパワー**が加わったとき、「笑顔うずまくまち」の実現に近づきます！

市民の声を生かした広報づくり

広報モニター事業

協働の事例⑲

より良いまちづくりを進めるために、お互いの持つ情報を共有していくことは、市と地域の共通課題です。

市では広報モニター制度を実施しており、「広報なると」や「テレビ広報なると」をご覧いただいた市民ボランティアの方から、定期的に意見や提案をいただいています。その意見などを基に改善を行うなど、より分かりやすく親しみやすい広報づくりに取り組んでいます。



～ 正確な情報をわかりやすくタイムリーに ～

自治基本条例では、これからのまちづくりに大切なこととして「参画」「協働」とあわせて市と市民の皆さんの「**情報共有**」を定めています。

これからも、市民の皆さんにご意見をいただきながら、わかりやすく親しまれる紙面・番組づくりを行い、情報の共有を進めていきます。
(現在、広報モニターを募集しています。詳しくはP15を。)

市では、このほかにも、各種審議会の委員を公募するなど、市民の皆さんが市政に参画できる機会づくりに努めています。広報などで募集しますので、ぜひご参加ください。

「大好きな鳴門のために…」 協働のまちづくりを共に進めていきましょう。



自治基本条例とは、市民が主役のまちづくりを実現するために、市民や行政、議会の役割など、まちづくりのルールを定めた条例です。まちづくりに大切なことは、「参画」「協働」「情報共有」と定めています。(平成23年11月1日施行)

【問】 市役所市民協働推進課
☎ 684・1200 FAX 684・1336
E-mail shiminkyodo@city.naruto.lg.jp